

早稲田大学 社会科学部 世界史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	2020年まで長く全問選択問題が続いた社学だが、2021年には30字の小論述が登場し2022も続いて出題され、今年は5字増えて35字となった。その他はすべて選択式で37問。これも2021年以来代変わっていない。2020年に消えた1題につき適切なものまたは適切でないものを2つ選べという形式(2018年の5題から2019年2題に減っていた)は復活しなかった。正誤判定のポイントに細かいポイントが目立ち、さらに高校レベルを逸脱したものも散見される。アフリカや東南アジアといった地域で非常に厳しい出題が目立った。昨年、一昨年にくらべかなり難化した。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	前近代アフリカの歴史	問1:正解はc。a-阿克苏ム王国(紀元前後～12世紀)はアラビア半島から移住してきたセム語族の阿克苏ム人が建てた国。b-ハイレ=セラシエはエチオピア帝国最後の皇帝(位1930～74)。アフリカ大陸で唯一の完全な独立国の君主としてアフリカ独立諸国首脳会議(1963)を主催したりアフリカ統一機構(OAU)設立を推進したりと存在感を示した。74年にソ連と結んだ軍人のクーデタで廃位された。d-文意はメロエ王国(前670頃～後350頃)に該当。問2:正解はc。ムラービト朝(1056～11247)はベルベル人が建てた国。b-アチェはスマトラ北部のイスラーム王国。d-バイバルスはマムルーク朝(1250～1517)。問3:用語集の語句説明文のように書く。35字は論述というより事実を簡潔に記すのみで事足りる。問4:正解はc。a-マリ王国(1240～1473)は「セネガルからタンザニアにかけての地域」ではなく「セネガルからマリにかけての地域」。b-「ザイル川」ではなく「ニジェール川」。d-大ジンバブエはアフリカ南部。問5:正解はc。a-ブニョロ王国(15世紀～1967)はヴィクトリア湖周辺の国だが受験世界史では対応不可能。ポイントは山川用語集「マリ王国から自立」の一節。b-ソンガイの都はガオ。ソファアラはアフリカ東岸現モザンビークの港湾都市。c-「アスキア=ムハンマド(位1493～1528)山川用語集の説明文にあり。d-「火器を装備した」のは「ベニン王国」ではなく「モロッコ」。1591年に鉄砲隊を備えたモロッコ軍によってソンガイの騎馬隊は惨敗を喫した。問6:正解はb。a-「ンデベレ人」は受験世界史の圏外。ただ山川用語集の「モノモタパ王国」の項に「ショナ人が建国した」とあるのでここに思い当たれば間違いとわかる。ンデベル人はジンバブエ南部マタベランドのバンツー系先住民。家屋の壁などに独特の幾何学文様を描き近年注目されている。c-これはカネム=ボルヌー王国(8世紀頃～1846)。d-「イギリス」ではなく「ポルトガル」。この一節は山川用語集そのまま国名だけ入れ替えている。問7:正解はd。a・b-イブン=ハルドゥーンは『世界史序説』。c-フィルドゥシーは『シャー=ナーメ』。『ルバイヤート』はウマル=ハイヤム。問8:正解はb。a-「ジブチ」はアデン湾に面した港湾都市(現国名)でアフリカ東岸ではない。スワヒリの北限はモガディシュ(ソマリア)。c-「マンデ諸語」とはスーダン西部のサバナ地帯に分布するマンディングゴ人の言語。d-「キリスト教徒」が誤りであることは当然。問9:正解はb。a-明律制定は洪武帝。c-山川用語集「正統帝」の文そのまま。d-これも山川用語集「建文帝」の文そのまま。	難

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅱ	戦争と社会の変容	<p>問1：正解はc。a-「ペロポネソス同盟」は「デロス同盟」が正しい。b-1952年設立はヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(E S C S)。さらに「ドイツ」は「西ドイツ」でなくてはならない。d-ワルシャワ条約機構は1991年に解体。上海協力機構は2001年成立。山川用語集にはないが東京書籍用語集には項目として記載がある。問2：正解はc。a-バビロン捕囚(前586～前538)を終わらせたのはキュロス2世。b-アケメネス朝版図の東端はインダス川。d-「王の道」はスサ～サルデス間。全国の要地を結んではいない。またビザンティオンはビザンツ帝国の都。アケメネス朝は行政の中心スサ、冬都バビロン、夏都エクバタナ、祭典などが行われるペルセポリスと機能によって複数の都を使い分けていた。問3：正解はa。b-将軍職は民会で選出。c-陪審員は「20歳以上」ではなく「30歳以上」。その陪審員はソクラテスを死罪としたことで知られる民衆裁判所で判決に携わった。d-英語のデモクラシーは「人民の権力」の意。問4：正解はb。a-ミレトスは「イオニア地方」。c-海軍を拡張したのは「テミストクレス」。テミストクレスは、ラウレイオン銀山で新鉱床が発見(前485頃)されたとき、市民で分配するという慣例を破って艦隊整備に充てることを主張した。サラミス海戦では司令官として指揮をとった。d-カイロネイアの戦い(前338)はアテネ・テーベ連合軍をマケドニアのフィリッポス2世が破った戦い。問5：正解はa。b-日本は「百済」復興のために派兵した。c-タラス河畔の戦いで唐軍を破ったのは「アッバース朝」。d-フビライが平定したのは「ハイドゥの乱」。問6：正解はb。a-ベルギーは1830年に独立を宣言、翌1831年のロンドン会議で国際的承認を得た。c-ヴェルサイユ条約の批准を拒否したのは共和党が多数を占めていた上院。上院が拒否したことは東京書籍の用語集には記載があるが山川にはない。d-ブレトン=ウッズ体制は「国際資本移動の自由化」ではなく「貿易の自由化」を目的とする。問7：正解はd。a-七年戦争に際してロシアはオーストリア側に立った。b-先住民は仏と手を組み英と戦った。先住民との交易を重視する仏と先住民は共存可能であったが、入植して農耕を営むことを主目的とする英人は先住民を排除の対象とし先住民とは敵対関係にあった。c-仏が割譲したのは「ミシシッピ以西のルイジアナ」。問8：正解はa。b-コシユシコはポーランド人。c-アルゼンチン出身でアンデスを越えたのはサン=マルティン。d-ボリビアは1825年に独立。問9：正解はa。b-S A L T I (1969)時の米大統領はニクソン。c-C T B Tは英仏は批准済み。しかし発効要件の44カ国の批准がすんでおらず未発効。d-2017年の国連総会で採択されたのは核兵器禁止条約。こちらは2020年に批准が50ヶ国に達し2021年に発効した。日本・韓国・オーストラリアなど米と軍事同盟を結んでいる国は調印していない。問10：正解はd。a-アフガニスタン攻撃にロシアは反対。b-2003年のイラク攻撃にフランスは不参加。c-シリア内線でロシアはアサド政権を支持。d-ロシアのクリミア併合(2014)は時事問題。ただ東京書籍の用語集には記載がある。</p>	標準・一部難

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅲ	キリスト教の歴史	<p>問1:正解はc。a-クローヴィスはアタナシウス派に改宗。b-1534年は国王至上法(首長法)。d-第二帝政は1852から1870年。そのあとは第四共和政(1870~1940)。問2:正解はa。b-ブルガリア人は現在に至るまで正教徒。c-リトアニア人はカトリック。d-マジヤール人はカトリック。問3:正解はa。これは易しい。問4:正解はb。明が足利義満に「日本国王之印」を与えたのは1404年。このとき勘合もともに下された。ただこの時点で足利義満(将軍位1368~94)は将軍ではない。ただほかに正しい文がないことと、勘合貿易については義満が主導したので正解とする。a-コンスタンティノーブル陥落は1453年。c-土木の変は1449年。d-アルタン=ハンは16世紀の人。問5:正解はb。a-ペトラルカは『叙情詩集』、『デカメロン』はボッカチオ。c-『カンタベリ物語』はチョーサー。d-「平等で…」はトマス=モア『ユートピア』に該当。問6:正解はc。a-ルターは初めは農民の動きに同情したが、社会変革を要求する急進的なものになると農民を暴徒として批判し領主による弾圧を支持した。b-カルヴァンの主張は政教一致。d-明白な誤文。問7:正解はb。a-ユグノーは仏のカルヴァン派。c-サン=バルテルミの虐殺(1572)では新教徒が旧教徒によって虐殺された。d-『国家論』はボーダン。ボシュエはルイ14世につかえたガリカニズム(仏国家教会主義)の理論家。問8:正解はa。b-軍機処は1730年に雍正帝が設置。c-『四庫全書』は乾隆帝時代の1782年に完成。d-白蓮教徒の乱(1796~1804)は乾隆帝(位1735~95)退位の翌年に勃発。八旗・緑營の弱体化が露見。鎮圧の主力は地方有力者の軍勢力である郷勇。問9:正解はa。b-「文字の獄」。漢人知識層が標的。c-遷界令。d-キリスト教禁止(1724)は雍正帝。三藩の乱(1673~81)は康熙帝時代。問10:正解はd。</p>	標準
Ⅳ	ASEANと東南アジアの歴史	<p>問1:正解はd。選択にはやや不安を覚えるが消去法で確定。a-パリ和平協定は1991年。b-ベトナム軍の撤退は1989年。c-「立憲君主制に反対」は事実無根。問2:正解はd。a-マラヤ連邦(1957~63)にシンガポールは不参加。b-マラヤ共産党は中国系が中心。c-海峡植民地(1826~1957)成立の前提はイギリス=オランダ協定(1824)。これで英蘭は勢力圏が確定。仏とは海峡をめぐる係争なし。問3:正解はc。a-石油(海底)をめぐるインドネシアとオーストラリア間で潜在的対立はあり。ただ東ティモール紛争の主因とするのは無理。b-アポリジニーの移民も蜂起もなし。d-明らかな誤り。問4:正解はc。内容的には教科書・用語集では厳しい。山川『詳説世界史研究』に類似した表現がある。作問者はその一節を借用した可能性がある。a-プロパガンダ運動はスペインのフィリピン支配に抗議する穏健派の運動。ホセ=リサルがその代表的人物。b-「政教分離」は誤り。スペインのフィリピン支配はカトリック教会と一体となって進められた。その反面、フィリピンではカトリックの土俗化が進んだ。d-ミンダナオ島はイスラーム教徒の強力な地盤があつてスペインの統治は浸透しなかった。問5:正解はc。a-1912年に終了したのはアチュー戦争(1873~1912)。b-「トルノジョの反乱」(1675)は受験世界史の圏外。マタラム王国は18世紀に王家が分裂し、オランダに付け入るすきを与えた。d-スマトラ南西部ミナンキカバウ地方を舞台とするパドリ戦争(1803~37)でオランダの財政は逼迫した。この点についても山川『詳説世界史研究』に記載がある。</p>	難

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅳ		<p>問6：正解はa。b-ヘン=サムリン政権(1979～93)はカンボジアに侵入したベトナムが擁立した親ベトナム政権。c-1975年はラオス人民民主共和国が成立。d-ネーウィンが軍事クーデタ(1962)で政権を奪取して標榜したのは「ビルマ式社会主義」。問7：正解はd。a-インド国民会議は「ムスリム」ではなく「ヒンドゥー」中心。b-1885年成立のインド国民会議は親英エリートを中心とし、英は植民地支配に利用しようとした。c-インド国民会議の1906年大会は「デリー」ではなく「カルカッタ」。当時の英領インド帝国の首都はカルカッタ。ベンガル分割令(1905)以降の反英運動の激化によってデリーに遷都した(1911)。問8：正解はc。a-「学校制度は変えなかった」が誤り。英人教師を招聘して西洋式教育を導入した。b-「フランスとの不平等条約を回避」が誤り。d-ラーマ4世(位1851～68)は1854年に清への朝貢を停止、翌1855年にバウリング条約(タイ英修好通商条約)を結んだ。これによってタイは不平等条約という制約のもとで英を中心とする世界経済の枠組みに組み込まれることになった。問9：正解はa。フィリピンのマルコス政権(1965～86)崩壊はアジア通貨危機(1997)以前。「一带一路」は中国の習近平(国家主席2013～-)が提唱したアジア・ヨーロッパ・アフリカにまたがる中国主導の経済圏構想。「中国の夢=中華民族の偉大な復興」理念と一体をなす。d-APECを提唱したのは「日本」ではなく「オーストラリア」(ホーク首相)。</p>	

[総合コメント]

社会学世界史は出題形式・傾向が以前とは大きく変わっている。以前の社会学世界史は独特の設問形式「適切な(または適切でない)ものをすべて選べ」という圧迫感の強い形式が定着していた。また正誤判定も不自然なほど細かいものが目立った。このどちらも姿を消して久しい。このように出題傾向が変化してきているので過去問(とくに2012年以前)演習の際には注意が必要である。早大の教育・法・商学部の選択問題に類似のものが見られるので、2012年以前の社会学世界史よりこうした隣接する学部の過去問をこなしたほうが役立つ。社会学世界史の特徴になりつつあるのが短文の論述問題(2021・2022年30字・今年は35字)である。過去問としては数が少なすぎるので他校の類似問題で練習するしかない。文字数からすると京大の小論述に近いので参考にするとよい。あと正誤判定の一部に山川用語集の説明文の一節をそのまま引用したものが目についた(明の建文帝・正統帝関係など)。受験生の間で広く使われている書籍からそのまま引用するというのはあまり感心できたものではないが、そういう出題傾向であるとすれば対策はとりやすい。ただ用語集の説明文を片っ端から記憶するのは無理だし出来たとしても負担が過大である。常々丁寧に読み込むことを心掛けるのがよい。また、同じ山川の『詳説世界史研究』からの引用もあった(スペインによるフィリピン植民地支配・パドリ戦争による蘭財政逼迫)。『詳説世界史研究』を参考書としてやり込む必要はないが、手元において気になったところを参照しておくとよい。教科書の記述ではわからない背景や要因をしっかり説明していて理解が進む。また現代史・時事について難問が目立つ。ロシアによるクリミア併合や(2014)やシリア内戦、中国習近平の「一带一路」などである。国際情勢・経済事情などに敏感でありたい。